



2025年8月13日

各位

会 社 名 株式会社 Z e n m u T e c h
代 表 者 名 代表取締役社長CEO 阿部 泰久
(コード番号:338A 東証グロース)
問 合 せ 先 取締役CFO 酒井 茂輝
(TEL.03-6260-6195)

2026年12月期 第2四半期（中間期）の業績予想値と実績値の差異に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2026年2月13日に公表した2026年12月期第2四半期（中間期）の業績予想につきまして、本日発表の実績値との間に差異が生じましたのでお知らせします。

記

1. 2026年12月期第2四半期（中間期）の業績予想値と実績値との差異
(2026年1月1日～2026年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想（A）	百万円 377	百万円 △71	百万円 △52	百万円 △43	円 銭 △16.10
今回修正予想（B）	305	△99	△79	△60	△22.07
増減額（B－A）	△72	△28	△27	△17	
増減率（％）	△19.1	－	－	－	
（ご参考）前期実績 （2025年12月期第2四半期）	304	△24	△18	△13	△5.62

（注）当社は、2026年3月31日を基準日（2026年4月1日を効力発生日）として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、2025年12月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり中間純利益」を算定しております。

2. 差異の理由

当社は2026年12月期の期初において、策定時点で把握した営業活動状況を当該業績予想に織り込み、直前期である2025年12月期実績をベースに、主力のPC向け情報漏洩対策ソリューション「ZENMU Virtual Drive（以下「ZVD」）」を中心とした秘密分散ビジネスの成長を考慮した上で、売上高、及び営業利益等の各段階利益の計画を策定いたしました。

第2四半期（中間期）については、売上高は、第2四半期に予定していたZVD案件について導入検討の長期化などにより42百万円程度が下期にずれ込んだこと、利益面については、一部費用の執行について見直しをはかったものの、人件費を中心に固定費が大半を占める構成であることから売上未達の影響により営業利益、経常利益、中間純利益ともに予想を下回る見込みとなりました。

なお、通期の業績予想につきましては修正せず、今後の業績動向等を踏まえ、修正が必要と判断した場合には速やかに開示いたします。

以上